

先端科学技術を巡る専門家と非専門家を交えた議論のあり

方の研究：再生医療を事例に

2012年1月30日（月） 18:00-20:00

今回の研究会は、1月26日に博士論文の公聴会を控えた、そして、研究会当日には、ほっと一息ついているであろう中川智絵さんをお迎えします。研究のキーワードは・・・「熟議」「再生医療」「専門家と非専門家」「Public communication of and discourses on science and technology」「Perceptions of science and technology」「Images and representations of science and technology」など（主催者より）

ゲスト 中川 智絵 氏

京都大学大学院 生命科学研究科 博士過程

2004年大阪大学理学部卒業。2006年大阪大学大学院理学研究科博士前期課程修了。その後、博士後期課程に進学するが、早々に休学。ふらふらとしているうちに、サイエンスコミュニケーションにどっぷり浸かっていることに気づく。もとの分野（分子遺伝学）に戻る気はさらさらなかったので、思い切って生命文化の扉をたたく。2008年3月大阪大学大学院理学研究科退学。直後の4月京都大学大学院生命科学研究科博士課程編入学。

会場 京都大学 吉田泉殿

- *京町家風の建物です。
- *普通の家のように見えるので、通り過ぎないようにご注意ください。
- *入り口に「京都大学吉田泉殿」という看板がかかっています。

定員 25名程度

- *当日参加も可能です！
- *お申し込みをいただいた方には、リマインダーをお送ります。

持ち物 （おなががすく時間なので）

夕ご飯をご持参ください。

主催 科学コミュニケーション研究会 関西支部有志

加納 圭・水町 衣里（京都大学）



お申し込みはコチラから → <http://bit.ly/y2GBQN>